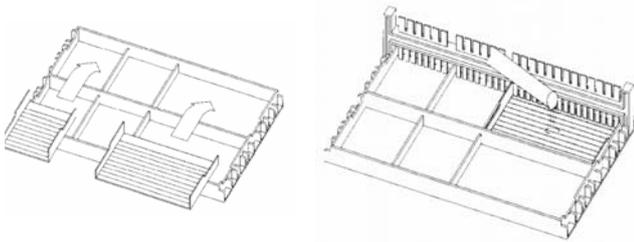


# アガロース電気泳動(AGE)

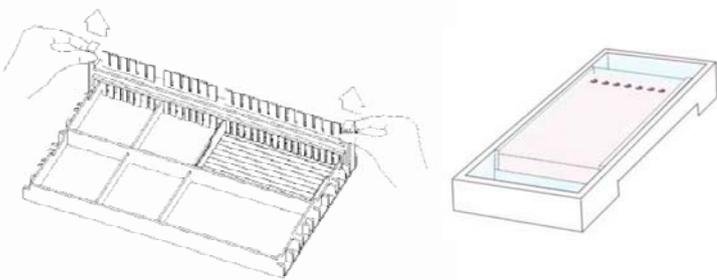
①1gのアガロースを秤量して三角フラスコに入れ、1×TAEバッファー(40 mM トリス酢酸、1 mM EDTA, pH 8.0)を100ml加えて、電子レンジにかけてアガロースを溶かす。



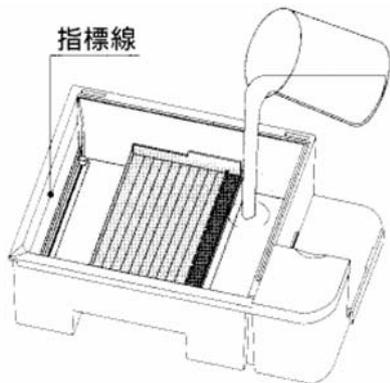
②三角フラスコが手で触れるくらい冷えたら(50°Cくらい)、下図のようにトレイにゲルを流し込む。コームはゲルを入れてからセットする。気泡が入った場合は、イエローチップで取り除く。



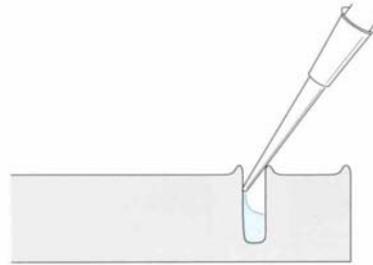
③ゲルが十分に冷えて固まったら、(慎重に)コームを垂直に引



④ゲルがしっかりと浸るように1×TAEバッファーを満す。

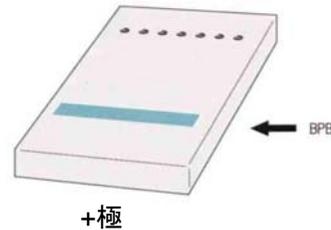


⑤サンプルをピペットマンでアプライする。

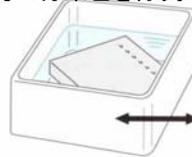


サンプルはDyeが加えてあるため水よりも比重が重い。ピペットマンからサンプルを押し出すという感覚よりも、サンプルを置いてくる感覚の方がうまくいく。上図はウェルの中間くらいからアプライしているが、できるだけ底の方からアプライする方がよい。ただし、ゲルを貫通しないように注意すること。

⑥100Vで電気泳動する。BPBが2/3位のところまで流れたら電気泳動をやめる。



⑦EtBr溶液が入った容器にゲルを移す(ゲルトレイは移さない)。約20分染色を行う。



EtBrは危険  
手で触らない  
触れたら水で洗う

⑧トランスイルミネーターの上にサランラップを敷き、その上にゲルをのせてUVで照らす。

